

社会総合科学科各コース 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

社会総合科学科

次の能力を有すると認められた者に学士の学位を授与する。

国際教養コース

1. 知識・理解

人文・社会等の諸科学における専門知識を体系的に理解するとともに、多文化・異文化理解を通して、グローバル化する現代社会の諸問題や地域課題を的確に理解することができる。

2. 汎用的技能

- (1) 正しい日本語の運用能力、他者とコミュニケーションする能力、プレゼンテーション能力を身につけている。
- (2) 国際共通語としての外国語の高度な運用能力を有し、それに基づいたコミュニケーションや情報発信ができる。
- (3) 国内外での多文化体験に基づいて、多様な価値観を理解できる。
- (4) 国際社会および地域における課題の解決に必要な情報を収集・分析・整理し、総合的な視点に基づいて対応する能力を身に付けている。

3. 態度・志向性

- (1) 豊かな人間性、高い倫理観を身につけ、自ら課題を発見し、解決する態度を身につけている。
- (2) 国際社会の一員としての意識を持ち、グローバル化が進む現代社会の諸問題に積極的に対処できる。

4. 統合的な学習経験と創造的思考力

総合的な視点と知識を身につけ、グローバル化する現代社会の諸問題を分析する能力と技能、情報発信能力、コミュニケーション能力を有し、持続可能な地域社会および国際社会の創造に貢献できる。

心身健康コース

1. 知識・理解

心理学、スポーツ健康科学の複眼的な視野をもって行動科学の幅広い知識を修得し、人間の心と身体の健康や QOL の向上を追求するアプローチを理解することができる。

2. 汎用的技能

- (1) 複雑化する地域住民の健康課題に対して、論理的に理解し表現できる能力、対人関係におけるコミュニケーション能力、説得できるプレゼンテーション能力を身につけている。
- (2) 国際共通言語としての外国語の基本的運用能力とそれに基づく国際感覚を身につけている。
- (3) 人間の健康課題に関して科学的かつ論理的に分析・判断し、予防・改善アプローチを実践できる。

3. 態度・志向性

- (1) 健全な倫理観と責任感、自律した学び、地域の支援活動に関わる行動力を身につけている。
- (2) 人間の健康や幸福（well-being）を維持する技能や生活の中で健康課題を解決する能力を身に

つけている。

4. 統合的な学習経験と創造的思考力

心と身体健康科学の複眼的思考力を基盤として、自ら考え行動する力を備え、多様な健康関連のステークホルダーとともに協調・協働し、個人の健康生活に留まらず、職場や地域社会において持続可能な健康環境を支える指導的人材として社会に貢献できる。

地域デザインコース

1. 知識・理解

公共政策、地域社会、地域文化、情報デザイン、芸術デザインなどの専門知識や技能を踏まえ、専門分野の融合を図ることで、グローバル化する現代社会の諸問題や地域課題を的確に理解することができる。

2. 汎用的技能

- (1) 論理的な思考に基づいて問題を的確に把握する能力、他者とコミュニケーションする能力、プレゼンテーション能力を身につけている。
- (2) 外国語の基本的運用能力を身につけている。
- (3) 現代社会の諸問題や地域課題の解決に必要な情報を収集・分析した上で、総合的な観点から課題の解決にかかる的確な提言を行う能力を身につけている。

3. 態度・志向性

- (1) 豊かな人間性や協調性、高い倫理観を身につけ、自分で問題を発見し、解決する態度を身につけている。
- (2) 他者との協働を踏まえ、社会問題や地域課題への取組を通じて、社会の発展のために積極的に関与できる。

4. 統合的な学習経験と創造的思考力

総合的な視点と知識を身につけ、グローバル化する現代社会の諸問題や地域課題を分析する能力と技能、情報発信能力、マネジメント・コーディネート能力を有し、地域・社会課題の解決と持続可能な社会の創生に貢献できる。